

環境eco通信 vol.1

千代田町から排出される燃えるごみは、平成26年度実績で約3,400tもあり、千代田町民1人あたりで換算すると797g/人日にもなります。このごみを大泉町外二町組合清掃センターで焼却処分するのに約1億円の税金が負担金として支払われています。

しかし たった一手間 かけるだけで、ごみの減量化および負担金の減額につながります。

生ごみ

- ☐ 買い過ぎない。
- ☐ なるべく濡らさない。
- ☐ 水切りネットで最後に絞る。
- ☐ 食べ切りサイズで食べ残しをなくす。
- ☐ 作り過ぎたら小分けにして冷凍保存。
- ☐ 新聞紙で包んで細目のネットに入れて干す。

☐ 生ごみ処理機器購入費補助金の活用

※詳細については裏面をご覧ください。

《できるものから レッツトライ!!》

回収：保健センター/役場/温水プール

プラスチック製容器包装類

- ☐ ♻️マークが付いているものはまとめる。
- ☐ トレイなど汚れているものは軽く洗って乾かす。

回収：各地区ステーション

紙類

- ☐ 汚れていないものなどは資源物にする。
- ☐ 封筒やメモ用紙などの細かい紙は、紙袋に入れてまとめる。

ペットボトル

- ☐ フタとラベルを取って中を軽く洗って乾かす。

回収：保健センター

古着・古布

- ☐ 洗濯・乾燥し、汚れないように袋に入れる。

廃食用油

- ☐ 油の入っていた容器などに入れて、しっかりフタをする。

プラスチック製品

- ☐ 壊れたケースなどをまとめる。
- ☐ プランターなど汚れているものは水洗いする。

裏面もご覧ください。

千代田町役場 環境保健課
環境係(保健センター)

86-5411

生ごみ処理機器購入費補助金

リニューアル

平成26年1月に策定した太田市外三町広域一般廃棄物(ごみ)処理基本計画の中で、平成30年度までに1人1日当たりの家庭系ごみ排出量を50g減量する必要があります。

しかし、この目標は、千代田町民1人1人の協力がないと達成できません。

そこで千代田町としては、協力してくださる方が1人でも増えてもらえるように生ごみ処理機器の購入費に対しての補助率と補助額限度を大幅にUPしました。

補助対象	補助回数	リニューアル		従前	
		補助額限度	補助率	補助額限度	補助率
ダンボールコンポスト基材 (ピートモス・もみがらくん炭)	1年に4回	1,000 円	3分の2	なし	2分の1
生ごみ処理容器	1年に1回	3,000 円		2,000 円	
生ごみ処理機(電気式)	3年に1回	40,000 円		20,000 円	

自分に合った処理機器を探してみませんか？

①設置場所

- ・主に室内

②ニオイや虫の発生

- ・ほぼナシ

③電気代

- ・1回：約20円

④処理後

- ・たい肥

※乾燥型のものを使用した場合【燃えるごみ】。

電気式

①設置場所

- ・屋外

②ニオイや虫の発生

- ・投入後、土をかぶせることで抑制

③電気代

- ・ナシ

④処理後

- ・たい肥

※乾燥型のものを使用した場合【燃えるごみ】。

容器(コンポストなど)

①設置場所

- ・ベランダなど雨に濡れないところ

②ニオイや虫の発生

- ・投入後、毎日混ぜることで抑制

③電気代

- ・ナシ

④処理後

- ・たい肥

※不要の場合は、保健センターまでご相談ください。

ダンボールコンポスト

裏面もご覧ください。

千代田町役場 環境保健課
環境係(保健センター)

86-5411